

令和元年度文京区アカデミー推進協議会第1回分科会(生涯学習・文化芸術)概要記録

日 時	令和元年11月12日(火) 18:30～20:30
会 場	文京シビックセンター3階 ホール会議室1
出 席 委 員	座長 田中 雅文 (日本女子大学教授) 増田 純 片貝 憲二 高澤 芳郎 牧野 恒良 今井 瑛里子 高橋 由貴子 山内 豊
欠 席 委 員	内藤真砂中央図書館長
事 務 局	細矢アカデミー推進課長 上野アカデミー文京所長(シビックホール館長) 諸アカデミー推進課アカデミー推進係長 鈴木アカデミー推進課文化事業係長 川口アカデミー推進課文化資源担当室長(ふるさと歴史館長)
資 料	資料1 令和元年度 生涯学習分野事業調査結果A 資料2 令和元年度 生涯学習分野事業調査結果B 資料3 平成30年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価について 資料4 区民向け調査における分野別目標の重要度と満足度 資料5 平成30年度の事業に対する評価 参考資料 平成30年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価について(生涯学習分野抜粋)
(議事)	
1 開 会	
2 議 題	<p><u>(1) 平成30年度の事業実施状況の点検と評価について(生涯学習分野)</u></p> <p><u>①分野別目標1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実</u></p> <p>資料1と資料3に基づき、分野別目標1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実における点検と評価について説明。</p> <p>◎生涯学習相談窓口について周知に努めてもらっており、相談が徐々に増えている。庁内の職員にもアカデミー推進課が窓口と思われており、相談者が庁内で迷ってしまうことがある。対応を図られたい。</p> <p>◎文京区は文化度が高いとよく言われる。アカデミア講座は多数開講されており、充実している。</p> <p>◎施設予約ねっとシステムは、設計がかなり古い印象を受ける。更新時にはより簡単に予約できるようになるとよい。</p> <p>◎文京区は民間も含めて学習機会があるので、民間等の情報が集約されていると生涯学習のために利用できると思う。</p> <p>◎アカデミア講座パンフレットをみると生涯学習の機会は大変充実していることが分かるが、区報ではそれほど発信されていない。事業参加者はリピーターになりやすいが、そうでないと情報が得られない。特に社会人や子育て世代に対しては、児童</p>
◎委員意見	
◆事務局説明	

館等での配布やデジタルサイネージの活用も検討いただきたい。

- ◆アカデミア講座パンフレットは区内で数万部発行している。子ども向け講座の案内は区立小学校経由で配布している。ただ、より一層の工夫を要すると認識している。
- ◎アカデミア講座は少ないスタッフでやっていることに感心する。土日開催や講座のメニューを増やしていくとスタッフの負担は増えるばかりである。ニーズに応えることとのバランスはどのような工夫をしているのか。
- ◆アカデミア講座にはサポーター制度があり、実働で100人ぐらいの人が講座運営をサポートしてくれている。それがスタッフの負担軽減になっている。サポーターに対しては、講座受講費を代替できるサポーターポイントを発行しており、それがインセンティブとなっている。
- ◎施設予約ねっとシステムは、以前より課題が認識されているが、具体的に改善されないことは何が原因なのか。
- ◆当初生涯学習とスポーツ施設から導入し、その後対象者や条件が異なる施設を徐々に追加していることで、使い勝手が悪くなっている。近々、リプレイスの時期を迎えるので、その際には改善を図りたい。
- ◎視聴覚資料の貸出にあたっては、16mmフィルムの保守点検が十分ではない。貴重な財産なので、保守点検に力を入れてもらいたい。
- ◎講座中の保育だが、ワーキングマザーにとっては、平日日中よりも夜や週末に保育を行ってもらえるとありがたい。共働き世代も増えてきていると思うので、ニーズを把握されてはいかがか。

②分野別目標2 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実

資料1と資料3に基づき、分野別目標2 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実における点検と評価について説明。

- ◎区民プロデュース講座に関心を持ちながらも、企画提案時に、文の京生涯学習司に相談することが必須なため、申し込みをためらうような場合があるのではないかと。必須でなくてもよいのではないかと。
- ◎生涯学習司への相談は、よりよい企画にしていくためにアドバイスをするという趣旨で行っている。
- ◎区民プロデュース講座と、施設を借りて自分で講座を開催することの違いは何か。それがメリットとして伝わると、企画提案する人も増えるのではないかと。
- ◆区民プロデュース講座では、会場の提供、広報、申込受付などをアカデミー事務局が行っている。もっと周知する必要があると感じた。
- ◎文京バックアップは予算のわりに実績が少ないように感じる。
- ◆予算は情報発信のためのウェブサイトの運営費にあたる。東京2020大会のボランティア養成という目的は果たしていると思うが、大学生向けに情報を届けようとする、大学生の情報行動や感度に合わせなければならず、その点は課題である。

③分野別目標3 学びの継続を通じたまちづくり

資料1と資料3に基づき、分野別目標3 学びの継続を通じたまちづくりを支える仕組みづくりにおける点検と評価について説明。

- ◎社会教育関係団体は、社会教育法に基づくものであるが、一度登録すると更新までの期間が長く、長期間登録された状態が続くものであった。今回、登録期間が短縮されたことは評価できる。
- ◎文京お届け講座は、職員のスキル等を活用するとよい講座なので、積極的に広報するとよいと思う。
- ◎文京お届け講座は職員の資質向上にもつながる。
- ◎文京お届け講座は、ホームページや区報のように広く情報発信するだけでなく、関心のありそうな団体に直接広報を行うのも効果的なのではないか。
- ◎文京アカデミーがすべての事業を主催するわけにはいかないの、NPOや市民団体が地域アカデミーを活用して区民向けの講座を行うことに補助金を交付するような仕組みがあるといいと思う。大学との連携は十分にできていると思うので、その他の外部資源も活用できるようになるとよい。
- ◎他部局での生涯学習的な取組を取り込んでいくことが、生涯学習課の課題になると考える。そのような取組は行政課題につながるものであり、まちづくりにもかかわる内容となるだろう。情報提供に取り組んでもらいたい。
- ◎文の京生涯学習司に情報提供をしてもらえれば、生涯学習相談窓口を通じて伝えていくこともできるので、お願いしたい。

④横断的施策

資料3に基づき、横断的施策における点検と評価について説明。

- ◎アカデミー講座の前後や、講座そのものにおいて、今後実施する事業の見どころを伝えるような機会があってもよいのかもしれない。
- ◎年々SNSの活用も進んでいるが、十分認知されていないと懸念される。すでに業務上の負担が大きいなかで、行政職員やアカデミー事務局が対応するのも難しいだろう。広報に関しても、区民がかかわることができる仕組みがあると思う。
- ◎講座が終わった後に、自分のなかで知見が高まるだけでなく、アウトプットするような仕組みがあるといいと思う。そのようなプロセスがあると、まちづくりにつながっていくと思う。
- ◎区内には企業も多く、メセナ活動もしていると思うので、連携をすることができればメセナ講座の内容が広がるのではないかと。

	(2)その他 特になし
3 閉 会	次回は11月25日(月)で、本日配付した資料3～4は持参していただきたい。